

編集後記

つい先日「RIST News36号」の編集を終えたと思っていたら、もう37号の編集の時期になっていました。まさに光陰矢の如しです。

本号に登場いただいたのは、それぞれの分野において光陰を惜しんで研究に携われた方々です。

放医研の黒田氏には、研究所において長年に亘って開発されてきた「放射性安全研究成果情報データベース」の紹介をいただきました。氏は、多くの課題を抱えながらも、放射線安全研究の責務を自覚した研究者により開発されたデータベースの今後への期待を述べています。本号がその期待への一助になれば幸いです。

原研の木名瀬氏のモンテカルロ法を用いた体外計測法の研究では、計測が不可能な問題に対して、手法の有効性が強調されています。まさにコンピュータシミュレーションの醍醐味といえます。須崎氏のモンテカルロコードMVPによるTCA臨界実験解析と合わせて読むと、シミュレーション手法としてのモンテカルロ法の有効性が認識されます。原研・坂本氏（サイクル機構に出向中）には、原研において開発される高エネルギー加速器施設の設計に必要な、光子・電子・中性子・陽子に対する線量換算係数を紹介いただきました。

当財団・狐崎氏には、昨年11月に米国・アリゾナ州フェニックスで開催された「スーパーコンピューティング2003(SC2003)」への参加報告をいただきました。筆者も1990年、米国・ニューヨークで開催されたSC'90へ参加しましたが、氏の報告の中から筆者が参加したSC90と変わらない熱気が伝わってきます。

(鈴木、岡田)